

# 藤波こども園

令和7年度 園長だより No.4

令和7年7月15日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

## これからの社会を生きていくために

子どもたちは毎日元気に、お友だちと楽しく過ごしています。まわりの大人たちに見守られながら無邪気に遊んでいる子どもたちもやがては社会に巣立っていくことになりますが、大人になったとき、生き生きと充実した日々を過ごせるようにと、今年もPTA講演会に佛教大学の原清治先生にお越しいただき、「幼児期の今、大切なこと」と題して講演していただきました。



90分間があっという間に過ぎてしまうほどに終始ユーモアを交えながら、子育てや保育に大事なことをたくさん教えていただきました。

◎人との関わりを大切に

◎自己選択と自己決定

◎失敗の経験から学ぶ



AI時代を生き抜くのに必要なのは  
まず「聴く」姿勢をつくること



親が指示をしすぎないことが重要

アクティブラーニングを成功に導くためには  
「プレゼン」力よりも「聴く」力が重要

(出典) 溝上慎一『大学生白書2018』(2018)

以下は参加いただいた方の感想です。

◆4歳の娘は家ではよく話しますが、外では恥ずかしがり屋で挨拶もなかなかできません。このままでいいのかなと思っていたところ、今回のお話を聴くことができました。自分の意見が言えて、人との関わりを大切にするという、あたり前のことが私自身もなかなかできないので、この大切な時期に少しずつ一緒に成長できたらと思います。

◆普段から子どもが自分で選択できるようにというのは心にありつつも、子どもが行動する前にアドバイスしてしまったりすることがあると反省しました。子どもの経験に寄り添い、失敗することで何かを学び、そして次にどうすればよいのか、子ども主体で一緒に考えていけるように関わりたいです。

◆なかなか自分の気持ちを表に出せないことが多く、自己主張が苦手な娘のためにも普段から自己選択をさせる機会を作りながら、子どもとしっかり向き合う時間を大切にしたいと改めて思いました。



## 藤波の子どもたちにもできる！ 『釜石の奇跡』

2011年、東日本大震災で多くの方が犠牲になったとき、岩手県釜石市の中学生の行動が「避難のお手本」として、そして後に『釜石の奇跡』として広く伝わりました。避難する途中、校舎の3階に上がろうとする小学生に高台への避難を促して手を引いて走ったり、不安いっぱいの園児を抱きかかえ、そしてまた園児が乗った手押し車を園の職員に代わって押したりしながらみんなで高台に避難し、多くの人の命が救われました。

園では毎月、避難訓練を行っています。目的は、園児が慌てることなく避難できるようにすること、そして私たち職員が出席している園児を素早く把握し、必要な場合は2次避難等の行動に移ることです。6



月の避難訓練では、雪組や花組の子どもたちにとっては初めての“避難”でした。ホームで保育者から「花組

の人は初めての避難だけど大丈夫かな」と投げかけたところ月組・星組の子どもたちから「私が〇〇ちゃん（花組）を守ってあげる」「□□ちゃん（花組）と手をつないで逃げる」の言葉。子どもたちがみんなを大切にしている様子を感じた場面でした。訓練では雪組・桃組の子どもたちもスムーズに避難できました。



## 成長を喜び合う 子どもたち

桃組・雪組の子どもたちは日ごとにできることが増え、周囲に成長の様子を認めてもらうことで大喜びの姿が見られます。給食の時には「上手に食べているねー」「し



っかり食べてお皿がピッカピカだねー」の言葉に誇らしげな様子を見させてくれます。先日、保護者さんからの連絡帳に次のように書かれていました。

昨日は家で初めてトイレでおしっこできました。「〇〇（自分の名前）行くー」とトイレに行き、すぐにできて自分でも大喜びでした。

これを読んだ保育者がみんなの前で「〇〇ちゃん、トイレに行けたの、すごいー」と言ったところ本人は大喜びで、まわりの子どもたちも「すごいー」と言って拍手していました。

幼い子どもたちはできることが増えて人に認めてもらい、そしてまた次のことに挑戦しているように思います。

1号さんは7月19日から8月31日まで夏休みとなります。職員の勤務も夏季は特別な体制をとります。緊急時など、園に連絡がつかない時には私（園長）の携帯に連絡ください。

藤波こども園 0740-32-0329  
園長 澤 悦弘 090-4563-7404